



学び舎に魂合わせ

令和8年4月10日（金）
第1号（1学期）
伊那市立東部中学校
作成 松坂 真吾

令和8年度 203名の新入生を迎え、 全校生徒640名、教職員76名、 活気と躍動感をもってスタート！



1年生の入学にあわせて校門の桜が咲き始めた4月6日（月）、令和8年度 伊那市立東部中学校入学式が行われました。

今年度も地域の皆様にもご参加いただき、大勢の保護者の皆さまと共に、入学式を挙行することができました。中学校の制服に身を包んだ新入生は、緊張しながらも中学生になる自覚が堂々たる姿から感じられました。



桂本校長先生 式辞より（一部抜粋）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

中学校になると勉強が難しくなり、部活や生徒会も盛んになります。そのために大切なのは、違いを認め、相手を受け入れ自分たちでつくっていくという感覚ではないでしょうか。

完璧な人間はそもそもいないので、相手を大切にする、自分も大切にして支え合っていきましょう。

学校の主役は生徒の皆さんです。教えてもらうという受け身だけではだめで、自ら学ぼうとする姿、気持ち大切です。ガツガツやるくらいの気持ちがあってもいいかもしれません。

あたたかな雰囲気や居心地のような環境にいきましょう。それが全ての基盤となります。最後に、皆さんの躍動する姿に期待します。

金子生徒会長 挨拶より（一部抜粋）

東部中学校は県内でもとても大きな中学校です。多くの出会いと多種多様な個性に触れることができる

- ① 挨拶は人と関わりをもつための第一歩になります、勇気をもってやろう
- ② 中学校生活では協力がポイント、清掃が良い機会となる
- ③ 先輩たちが大事にしてきた東部中、日々努力してそれを継承していこう
そんな点を大切にしてみてください。

1710 パート3 その吉

入学式に先立って、2、3年生のみで1学期始業式が行われました。桂本校長先生からは、「自主・自立。自分で考え、自ら行動。多様な学び、違いがある仲間から学ぶ大切さ」についてお話しがありました。

その後、学級担任及び学年担当の先生が紹介される場面がありました。教務主任の岡田先生から「その出会いの大切さ」について説明があったとはいえ、凜とした2、3年生の姿が本当に素晴らしく驚きました。

- ・背筋を伸ばし、顔を上げ、緊張感のある姿
- ・新しい出会いや引き続きの出会いへの期待や安堵を柔らかな雰囲気で見せる姿

授業や行事、生徒会や部活動、生徒の皆さんが真ん中にいて、先生たちと一緒に創り上げていく、「令和8年東部中学校」がイメージできた素敵な時間でした、ありがとうございました。

◇令和8年度新任職員の紹介◇

よろしくお祈りします！

4、5月の主な予定

4月13日(月)	1年家庭訪問(～17日)
20日(月)	避難訓練、集団下校
23日(木)	全国学力状況調査(3年) 総合学力調査(1, 2年)
5月1日(金)	授業参観日 PTA総会
8日(金)	全国学力状況調査 英語 「話すこと」(3年)
20日(水)	計画休業
21日(木)	3年実力テスト



640名の生徒数は県内でも有数の大規模校です。生徒がより健やかに成長できるよう、東部中Prideを持って卒業できるように、保護者の皆様と連携して一人一人の生徒の成長をサポートしていきたいと思っております。不安な点等がございましたら学校までお問合せください。



スクールカウンセリングのお知らせ

昨年同様、相談が可能ですので、スクールカウンセリングをご希望される方は、担任または養護教諭までご連絡ください。